

E I T E T S U H A Y A S H I

& E I T E T S U F U - U N n o K A I

林英哲 & 英哲風雲の会

世界が認める和太鼓の第一人者であり

二〇一二年の川西初登場で圧倒的な存在感と

芸術としての和太鼓演奏で観客を魅了した林英哲

若手実力者揃いの英哲風雲の会を率い

ゲストには注目の尺八演奏家

名手の藤原道山を迎える

※演奏曲目・曲順は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ゲスト
太鼓…林英哲

英哲風雲の会

藤原道山 尺八

藤原道山…「東風」
林英哲…「宴」
林英哲…組曲「涙の蓮」(構成・振付:林英哲)ほか

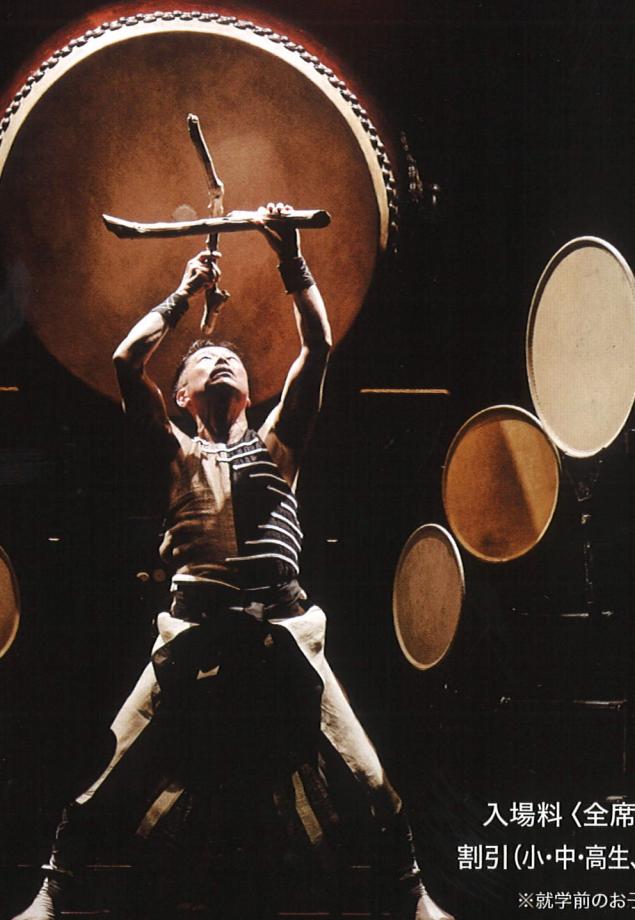
2023

7/8(土)

3:00PM開演 (2:30PM開場)

川西市キセラホール

阪急・能勢電鉄川西能勢口駅東口徒歩15分、能勢電鉄綱延橋徒歩5分
〒666-0017 川西市火打1丁目12番16号 キセラ川西プラザ内



入場料(全席指定席):一般 4,500円
割引(小・中・高生、障がいのある人) 3,000円

※就学前のお子様の同伴・入場はお断りいたします。

■主催:(公財)川西市文化・スポーツ振興財団 ■ご予約・お問い合わせ:みつなかホール 072-740-1117 〒666-0015 川西市小花2-7-2
URL <https://www.kawanishi-bunka-sports.com> <https://www.facebook.com/mitsunaka.bunka>

前売券取り扱い:みつなかホール 072-740-1117、キセラホール072-757-1920 *一般のみ ローソンチケット Lコード:51959、楽天チケット <https://ticket.rakuten.co.jp/>

●前売券完売の場合は、当日券はありませんのでご了承ください。●駐車スペースには限りがあります。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

“和太鼓の芸術的な可能性を発見した第一人者”

◇林 英哲 EITETSU HAYASHI, Taiko

太鼓集団「佐渡・鬼太鼓座」、「鼓童」の創設に参加し11年活動した後、1982年にソロ活動を開始。1984年、初の“和太鼓ソリスト”としてカーネギーホールで鮮烈デビューを果たした。太鼓ソリストという分野を新たに開拓した林英哲は、かつて日本の伝統にはなかった様々な太鼓の独奏法を編み出し、前例のない“太鼓音楽”的表現を築きながら舞台作品の創作や演出を行い、国内外で活躍している。

欧米をはじめ54カ国で公演。ベルリン・フィルを始め、国内外の著名なアーティストやオーケストラと多く共演したほか、主宰する「英哲風雲の会」と共にオリジナル作品で数多くのコンサートツアーを行う。パリの「ジャポニスム2018」ではチケット完売で大成功。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催「東京2020 NIPPONフェスティバル」の公式映像で音楽を担当し、同年NHK大河ドラマ『麒麟がくる』でのソリスト参加や、藤倉大らの現代曲の初演なども行う。

創作太鼓のための委嘱作品などを多く作曲し、指導もしている。CD、DVD、ビデオも数多い。著書に、増補新装版「あしたの太鼓打ちへ」(羽鳥書店2017年10月発売)。書き下ろし自伝「太鼓日月～独走の軌跡」(講談社)、その他雑誌等に原稿掲載多数。東京藝術大学客員教授、筑波大学院講師など歴任。1997年芸術選奨文部大臣賞、2001年日本伝統文化振興賞、2017年松尾芸能賞大賞、2021年JTS山本邦山記念賞を受賞。2022年(第32回)福岡アジア文化賞において、日本人として9年ぶりに大賞を受賞するという快挙を成し遂げた。また同年秋の叙勲では「旭日小綬章」を受章するなど、太鼓奏者としては唯一無二の存在としてその注目度は高まり続けている。2021年に演奏活動50周年、翌22年に独奏40周年を迎え、2年に渡りサントリーホールで記念公演を開催し、多くの反響を呼んだ。

オフィシャルサイト <http://www.eitetsu.net/>



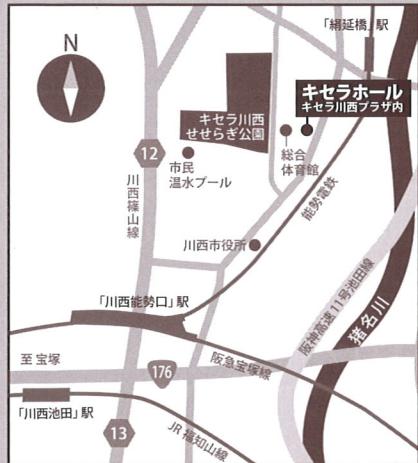
©Makoto Ebisawa

◇尺八:藤原 道山 DOZAN FUJIWARA, Shakuhachi

10歳より尺八を始め、初代山本邦山(人間国宝)に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院音楽研究科修了。在学中、皇居内桃華楽堂において御前演奏(宮内庁主催)。安宅賞、江戸川区文化功績賞、松尾芸能賞新人賞、アルバム「季～冬～」が文化庁芸術祭優秀賞、令和2年度(第71回)芸術選奨 文部科学大臣賞、第五回服部真二音楽賞を受賞。これまでにCD、映像作品等多数発表。伝統音楽の活動と共に、国内外のアーティストとの共演など尺八の可能性を求める様々な音楽を追究。吉永小百合氏の朗読アルバム「第二樂章 福島への思い」音楽監修、マリンバ奏者SINSKEとのデュオ、妹尾武(ピアノ)、古川展生(チェロ)との「KOBUDO-古武道-」、尺八アンサンブル「風雅竹韻」などのユニット活動、松竹映画「武士の一分」にゲスト・ミュージシャンとして参加したほか、「敦」「マクベス」(野村萬斎主演演出)、「ろくでなし啄木」(三谷幸喜演出)、「春の雪」「九十歳。何がめでたい」(石井ふく子演出)、スーパー歌舞伎「ワニピース」「新版オグリ」(四代目市川猿之助演出・主演)などの舞台音楽を手がける。NHK「にほんごであそぼ」にレギュラー出演、邦楽ジャーナルにて連載など多岐な活動を展開中。小学校及び中学校音楽教科書(教育芸術社)の執筆・編集、出演や後進の育成など普及・教育活動にも力を注ぐ。現在、公益財団法人都山流尺八楽会所属・大師範。都山流道山会主宰。日本三曲協会会員。東京藝術大学音楽学部准教授。藤原道山×SINSKE2023年度ツアー「東方見聞録」大阪公演を10月に開催予定。オフィシャルサイト:<https://dozan.jp/>

◇英哲風雲の会 EITETSU FU-UN no KAI, Taiko

林英哲の弟子によるユニットで1995年結成。「風雲の会」とは熟語の「英主と賢臣とが出会うこと、志を遂げる好機」から採ったもので、プロ活動を志す若手奏者の育成とその活躍の場を提供する目的をもつ。13名による初作品「七星」を始め、林英哲コンサートのメンバーとして多くの舞台作品に参加。海外ツアーや、オーケストラ、邦楽、邦舞、歌舞伎、ジャズなど、多様な場での経験を元に、各自が独自のソロ活動を展開している。音楽経験を積んだプロの打ち手として、その圧倒的なパフォーマンスは海外でも大反響を呼んでいる。NHK大河ドラマ『麒麟がくる』では陣太鼓演奏で出演。今回もメンバーの中から、上田秀一郎、はせみきた、木村優一、田代誠、辻祐の5名が出演する。



川西市キセラホール(低炭素型複合施設キセラ川西プラザ内)

[所在地]〒666-0017 川西市火打1丁目12番16号 ☎072-757-1920

(交通)阪急電鉄宝塚線 川西能勢口駅下車、徒歩約15分、能勢電鉄妙見線 絹延橋駅下車、徒歩約5分

※駐車スペースは限られています。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。